

O2-021

短期大学生の中学・高校時代の運動部活動
ならびに現在の運動との関わり－30年前
(1982年)と現在(2012年)の学生への調査
結果の比較－

澤田 孝二、澤田 由美

山梨学院短期大学 保育科

【はじめに】

学生の健康生活や運動経験等に関する調査を開始して30年以上になり、学生の運動経験や運動意識も大きく変容していると思われることから、30年前と現在の調査結果を比較し、学生の運動経験や運動意識がこの30年間にどう変化しているかを分析した。

【方法】

調査対象は、1982年および2012年にY短期大学に入学した学生であり、調査項目は、中学・高校での運動部活動の経験の有無、取り組んだ種目、大会への出場経験の有無、現在関心を持っている種目、実際に取り組んでみたい種目、大学入学後の運動習慣、運動のための環境など10項目であり、両年で違いがみられるかを比較した。

【結果と考察】

運動部活動の経験が「中学・高校ともあり」は82年が39%、12年が52%、「中学のみ経験あり」は82年が37%、12年が23%、「高校のみ経験あり」は82年が8%、12年が5%、「中学・高校とも経験なし」は82年が16%、12年が21%であり、中学・高校とも経験のある者の比率がこの30年間で増加していた。取り組んだ種目は、中学では82年が「バレーボール」「テニス」「バスケット」、12年が「テニス」「バレーボール」「バスケット」と続いた。高校では82年が「バレーボール」「テニス」「バトミントン」、12年が「テニス」「バトミントン」「バレーボール」と続いた。学生が関心を持っている種目は、82年が「テニス」「バトミントン」「バレーボール」、12年が「サッカー」「バレーボール」「野球」と続いた。一方、実際に取り組んでみたい種目は、82年が「バトミントン」「テニス」「バレーボール」、12年が「バレーボール」「バトミントン」「サッカー」と続き、関心のある種目と取り組みたい種目に違いがみられた。体を動かす機会が「大変多い」と「どちらか」と多いを合わせた比率は、82年が46%、12年が39%、「どちらか」と少ないと「きわめて少ない」を合わせた比率は、82年が28%、12年が24%であり、いずれもやや減少した。運動のための環境に「大変恵まれている」と「どちらか」というと恵まれているを合わせた比率は、82年が20%、12年が41%、「あまり恵まれていない」と「全く恵まれていない」を合わせた比率は82年が42%、12年が22%であり、この30年間で環境に恵まれている者の比率が倍増した。

【おわりに】

この30年間に運動の経験や意識も変容していることがわかったので、健康教育など大学での健康支援に活かしていきたい。

O2-022

スポーツ鬼ごっこの運動能力に及ぼす効果
と今後の展望若木 均¹、羽崎 泰男²¹わかきkids' クリニック、²鬼ごっこ協会

【要旨】

こどもの外遊びの減少が叫ばれ体力低下や肥満児の増加、コミュニケーション不足が懸念される状況が続いている。スポーツ鬼ごっこは鬼ごっこ協会が提唱・推進しており、1チーム7名で相手陣の「宝」を取り点数を競うスポーツである(鬼ごっこ協会ホームページ<http://onigokko.or.jp/>)。今回小学生を対象として本スポーツを行い前後1か月で体力測定テストを行った。運動能力に対する本スポーツの期待される効果と今後の展望について考察する。

【目的】

スポーツ鬼ごっこの運動能力に及ぼす効果について施行前後に体力測定テストを行い評価する。

【対象】

千葉県放課後児童クラブに在籍する小学生22名(男児13名、女児9名)。

【方法】

スポーツ鬼ごっこ施行前後で(1)ソフトボール投げ、(2)握力、(3)反復横跳び、(4)立ち幅跳び、(5)施行時の歩数を測定。週1回、計4回施行、1回は約1時間。(1)～(4)の測定は文部科学省の定める体力測定テストに準じて施行、(5)は歩数計を装着して測定。解析は統計ソフトStat Viewを使用した検定を行った。

【結果】

(1)ソフトボール投げと(3)反復横跳びにおいて施行前後で測定数値が有意に上昇した。(2)握力と(4)立ち幅跳びでは有意差を認めなかった。

【考察】

スポーツ鬼ごっこの実施・指導経験から運動能力については持久力・瞬発力・敏捷性、さらにゲームスポーツに重要な視野の広さやコミュニケーション能力向上が期待される。今回1か月間4回の取り組みでは反復横跳びの数値が有意差をもって上昇しており敏捷性の向上が示唆された。またソフトボール投げも上昇していたがこれは腕力の向上というよりは全身運動として投擲(とうてき)力が上昇したためと考えた。握力は有意差を認めず、立ち幅跳びも全身運動としての能力向上が期待されるが施行期間が短かったことも関連していると推測した。スポーツ鬼ごっこはボールを扱う等の技術が不要のため特にその導入部では優劣がつきにくく運動が苦手な児童でも取り組み易い事が大きいメリットで、運動能力向上だけでなく外遊びやスポーツ全体の裾野を広げることも期待される。

【まとめ】

今回初めてスポーツ鬼ごっこによる運動能力への陽性効果について報告を行った。今後本スポーツの普及と充実を目指し、対象人数や年齢層を広げ、また体力測定だけでなく多方面から評価・検討していく。